

169. 共働きと子供の問題について

【問い】 小学2年と、4年の女子を持つ母親です。パートで働くことになりましたが、共働き家庭の子に、問題行動が多いと聞き心配です。どのような配慮をしたらよいでしょうか。

【答え】 まず、パートに出る事情を、納得がゆくまで、子どもと話し合ってください。話し合いの中で、子ども自身が、家庭内での位置と役割を理解するようになりたいものです。理解すれば、夕食の準備も手伝うようになることでしょう。4年生にもなれば、家事のことは、かなりのところまでできます。責任を持たせ、自分も家のために働いているのだ、という自覚を持たせましょう。

この機会に、家庭における基本的な生活態度を身につけさせたいものです。火の始末から戸締まりの確認、その他来客の接待、電話の応待などが必要です。

いつ、なにが起こるかわかりませんから、近所の方に、子どものことを、よく頼んでおきましょう。

子どもに手伝わせているという気持ちから、「金」で愛情を償おうとしがちですが、子どもの自主性と役割分担の自覚という点からは、あまりおすすめできません。

親と子がいっしょに努力する家庭の「生活目標」を、つくってみてはどうでしょうか。

また、日曜日などは「家庭の日」とし、努力して心の触れ合いを深めたいものです。

ご質問のように、共働きだからといって、子どものしつけが、おろそかになるとはかぎりません。要は、仕事を通しての親子の触れ合いが、大切なのです。

人間に最も大切な協調・寛容・耐性は、家庭の中で、親子の仕事を通して、子どもが親の労働を理解し、親を思いやることから生まれるのです。そういう意味で、お宅の場合は、家庭教育の絶好の場が設けられたと考えてはいかがでしょうか。